

決 議

三大都市圏を超高速で結ぶリニア中央新幹線は、時間短縮によるスーパー・メガリージョンの形成と、災害に強い国土を形成するための国家的プロジェクトである。

現在、東京・名古屋間では、諸課題の解決を図りながら、東海旅客鉄道株式会社により、順次、建設工事が進められ、本年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」の中において、リニア中央新幹線については、全線開業に係る現行の想定時期の下、適切に整備が進むよう、必要な指導及び技術的支援を行うとともに、名古屋以西について、駅の整備に関する検討の深度化など、整備効果が最大限発揮できるよう、沿線自治体と連携して駅周辺を含めたまちづくりを進めること等が明記されている。

また、名古屋以西の開業に向けては、昨年12月、奈良県で地質調査などの「環境アセスメント」が着手され、今後、具体的なルートや中間駅の設置位置の絞り込みなどが本格的に進んでいくと予想される。

よって我々はこの動きを捉え、大和郡山市のみならず奈良県全体の発展のため、次の事項について一致団結して取り組み、強力な運動を展開する。

- 1, リニア中央新幹線がもたらす様々な効果を最大限に発揮するため、東京・大阪間を一日も早く全線開業すること。
- 2, 奈良県内への中間駅設置を確実とするため、名古屋・大阪間の環境影響評価の手続きを早急に進展させること。
- 3, 全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画及び整備計画において明記された「奈良市附近」の駅位置は、リニア中央新幹線がもたらす効果を奈良県全体、そして紀伊半島地域にも広く波及させるため、JR や近鉄による鉄道網と西名阪自動車道や京奈和自動車道などの道路網で各地と高い交通結節性を有した最適地とすること。

以上、決議する。

令和6年11月20日

リニア中央新幹線中間駅の大和郡山市への建設促進期成同盟会